



2015-16 年度 R I のテーマ「世界へのプレゼントになろう」

R I 会長 K. R. ラビンドラン (Be a gift to the world)

八戸南ロータリークラブ会報

例会日：毎週木曜日 12:30 例会場：八戸パークホテル

●ガバナー 鈴木 唯司 ● 会長 伊藤 斉 ● 幹事 吉田 立盛 ● コミュニケーション委員長 三浦 晃

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

f Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2015/

第 1957 回 例会 記録

《出席委員会担当例会》
2015 年 12 月 10 日 (木)
点鐘 12:30
レポート No. 1389



平光 S A A

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか



《会長要件》伊藤会長



会長要件の前に皆様にお詫びしなければなりません。先週のクラブ年次総会で一番大事な事を忘れておりました。皆様からの承認をいただくことを失念してしまいまして、ここで改めて次年度の理事役員を発表して承認して頂きたいと思えます。(次年度理事役員発表)皆様のご承認をお願いします。(拍手にて承認)どうもありがとうございました。

あらためまして会長要件ですが、今日は特にありません。来週はいよいよクリスマス家族例会ですが、今年は五戸クラブさんとの合同家族例会です。五戸クラブさんからは会員、家族あわせて 11 名のご参加です。当初は五戸国際クラブと言って、五戸クラブさんが外国人の方に識字や日常会話などをお手伝いしている方々も参加の予定でしたが、どうしても都合がつかないという事で五戸クラブの方だけの参加となりました。八戸高校インターアクトクラブからは生徒さんと先生あわせて 11 名の参加で、総勢 80 名ほどのにぎやかなパーティーになると思いますので、皆様どうぞよろしくお願い致します。今日は出席委員会担当例会と言う事で、大橋委員長さんにお話してもらいますが、せっかくの出席委員会担当例会が、このように出席が悪く残念でなりません。大橋さんは出席発表の時に一言付け加えてくれるなど、とても良い出席報告をしてくれているのに残念です。

マルチプルポールハリスフェロー



石橋会員 5 回目

《出席報告》大橋委員長



正会員数 47 名。本日の出席は免除会員 5 名を含む 27 名。出席率 64% です。前々回の例会はメーキャップ 1 名、出席率 74% でした。今日は 3 分の 2 を切ってしまいました。皆様よろしくお祈りします。

《幹事報告》吉田立盛幹事



- ・バギオ基金から寄付のお願いが来ています。
- ・財団寄付の領収書は 1 月末に皆様の所に届きます。
- ・新年互礼例会の出欠が回っていますのでご参加をお願いします。
- ・レターボックスに三川会員から頂いた開院 20 周年記念のボールペンが入っています。ありがとうございました。

《ニコニコボックス》吉田賢治委員長

伊藤会長：大橋委員長、今日はよろしくお祈りします。三浦さん写真ありがとうございます。

赤穂会員：三浦晃さん、写真ありがとうございました。

榊会員：南浦項訪問の際の写真メンバーからいただきました。ありがとうございました。

平光会員：三浦晃さん、写真ありがとうございました。

吉田賢治会員：三浦晃さん、写真ありがとうございました。来週クリスマス例会よろしくお祈りします。



《出席委員会》大橋委員長

出席委員会担当例会という事で、お話の時間を頂きました。ロータリーと出席率というキーワードで考えた所、うまい具合に私が大学時代在籍していた 2570 埼玉地区のローターアクトクラブの同窓会が 11



月にありました。その時の事をお話したいと思います。

11月に同窓会をやるよ、と、一斉メールで来たのですが、当初は皆で行こう行こうという事で、メールや電話で盛り上がったのですが、9月になっても、何処でやるのか、音沙汰もなく、幹事の先輩に、メールで問い合わせた所、5人しか集まっていないとの事でした。

間違いではないかと、電話したら本当に5人で、借りる予定のホテルの関係で、30人くらいは集まってくれないと困るという事で、どうするかを色々考えました。他の4人と、パソコン上で会議をしました。今はとても便利で、札幌の先輩や沖縄の先輩とも簡単にやり取りができます。皆さんもやってみてください。当初は、15人ぐらいの参加希望があったらしいのですが、近づくにつれ、どんどん減っていったという事でした。ここまで話すと、察しがつくと思いますが、どうやって増やしていったか、というのが話の落ちなのです。

最初にやった事は、名簿を引っ張り出して、全員と連絡を取りました。フェイスブック、ツイッター、ライン、ミクシーなどというSNSをフル活用して、片っ端からお話をしました。最初に来た一斉送信メールだけだと、結構無視した人がいたのですが、無視できないように、貴方だけにこのメッセージを送りましたよ、という形を取りましたら、無視する人はいませんでした。1人1人地道に連絡を取ってやった所、5人だったのが、24人になりました。まだ30人には足りません。どうしようかとなった時に、先輩に有名人はいないか、という話になり、色々探した所、「下流老人」という今年出た本を書いた人が、なんと私の2コ上のローターアクトの先輩でした。今年の流行語大賞にもノミネートされ、ネット上では結構話

題になった本です。そこで、この先輩に同窓会の時に講演してもらえば、食いついてくるのではと思い、企画した所、一週間で20人以上増えて、48人になりました。最終的には、62人になるのですが、この時にはまだ、流行語大賞の前でしたが、本を出している人が、同じローターアクトクラブにいたという事は、非常にインパクトがありました。私達5人が、一か月以上頑張ったよりも、この人が来るという事だけで、人が集まって、いかに企画が大事かわかりました。

当日は本当に楽しかったです。10年くらい会っていなかった同輩や先輩、そして初対面の人達とも、話が弾み、とても為になりました。出席者が増えなければ、同窓会を開く事が出来ませんでした。たくさんの方が集まってくれたので、部屋も狭くなりましたが、非常に楽しい同窓会で、新年会の約束までしました。1月2日に、ほぼ同じメンバーで、やる事になっていますが、今回来なかった人も誘って、盛大にやりたいと思いました。

一つ残念だったのは、現役の方が参加しなかった事です。回りが全員年上というのは、私が一番身に染みてわかっている事ですからあまり責められません・・・

今日のお話を、要約するなら、たった1行で済みます。「出席希望者5人の同窓会が、一か月で62人になった話」です。出席率を上げるには、対面してお願いすれば、上がると思いますが、それ以上に出席する事によるメリットの方が1対1で話すよりどんどん出席率が上がるのではないかと、同窓会の幹事をやって、つくづく思いました。

今日の悪い出席率を嘆くよりも、出席したくなる例会になるように、私も積極的に皆さんとお話をしたいと思いますので、よろしくお願ひします。